

主催者ごあいさつ

「医療情報セミナー 2015 in TOKYO」

来場者各位

2015年10月12日



MiMコンサル株式会社

中嶋 吉男

本日は当セミナーに参加くださいますようお願いいたします。

我が国は厳しい財政事情の中で世界的にも類を見ない超少子高齢化社会を迎えようとしています。将来稼ぎ手となる子供や若者が減少することで社会保証の原資が目減りします。更に、医療・介護を必要とする高齢者が急激に増加するため、現状よりはるかに厳しい社会になることはわかっています。したがって、私たちは後世の負担をできるだけ和らげるため、今からできるかぎりの手を打つ必要があります。

医療・介護の現状を見渡すと、ICT化の遅れから情報伝達に二重三重の手間がかかっているため、ムダな人件費が発生し、伝達ミスによる事故の危険性が指摘されています。また、ICT化を進めようとする一般社会では考えられない高額な費用を要します。

一方、医療・介護従事者はそれぞれの疾患をもった患者さんや高齢者を対象にサービス提供する職種です。したがって、忙しさやストレスから心身ともに限界の中で作業を続けているケースも多くみられます。

そこで、本セミナーは、「医療・介護従事者」「機器・ソフト提供者」「専門家・研究者」の方々が一同に会して情報交換することで、現状の問題点の打開策や改善の糸口を見出し、それぞれの立場で活かすことを目的として開催いたしました。

講演・パネルディスカッションを通して、医療情報に関する問題点の洗い出しを行い、対策や方向性について、会場の皆様と意見交換したいと考えております。

専門家による相談・情報提供コーナーでは、9人の専門家の先生が皆様をお待ちしておりますので、是非ご利用ください。

会場内の通路では、協賛・出展企業による機器やソフトの展示とデモンストレーションを行っていますので、お立ち寄りください。

結びに、私たちは良質な医療・介護サービス提供に貢献するため、皆様とともにできることから実現させていきたいと考えています。今後ともよろしくお願い申し上げます。